会　　議　　録

会議名	令和８年度第１回山形市救急救命業務検証会議
開催日時	令和８年８月１７日(月)　午後１時３０分から午後３時００分
開催場所	山形市総合福祉センター　２階交流ホール
主催	山形市消防本部
出席者 (敬称略)	・構成員（敬称略）１０名 （五十音順） 後藤道子、清水行敏、武田嘉文、難波敏昭、野口比呂美、廣部公子、 藤澤睦夫、細谷真紀子、森野一真、渡辺英一 ・山形市（７名） 市長、消防長、救急救命課長、通信指令課長、通信指令課長補佐、 救急救命課長補佐、通信指令課長補佐
傍聴者	・傍聴者１名　　※報道機関３社５名
検証事項	■映像通報システム「Ｌｉｖｅ１１９」活用の促進について（通信指令課） 「Ｌｉｖｅ１１９」の活用促進について ■やまがたＡＥＤサポーター制度（仮称）の創設について ＡＥＤ搬送システムを活用した市民によるＡＥＤ活用促進の取組（救急救命課）
座長(敬称略)	森野一真
資料	配布資料参照
作成者	山形市消防本部　通信指令課長補佐　武田和栄

■市長あいさつ

市　長

「山形市救急救命業務検証会議」の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
構成員の皆様におかれましては、ご多用のところご出席いただくとともに、日頃より、山形市の救急行政につきまして、多大なるご支援とご協力を賜っておりますことに、心から御礼申し上げます。また、このたび新たに構成員をお務めいただくお三方におかれましては、お引き受けいただき誠にありがとうございます。

さて、先月２８日の熊本地震では多くの尊い命が犠牲となりました。亡くなられた方々に対し心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害にあわれた方々に対し心よりお見舞いを申し上げます。山形市といたしましては、市役所ほか、市有施設にて、義援金を募るとともに、各分野において支援の要請があった際、迅速に対応できるよう、体制を整えているところです。

近年、地震や豪雨などによる自然災害が激甚化・頻発化する中、市民の生命を守るため、救急救命における迅速な初期対応と体制強化が急務となっております。こうした中、構成員の皆様にお集まりいただき、山形市の救急救命行政を検証いただくことは誠に時宜を得たものであり、意義深いものであります。

今年３月に開催した前回の会議では、心肺停止傷病者の社会復帰率向上を目指した「ハイパフォーマンスＣＰＲ」の取り組み状況のほか、「通信指令員の救急に係る研修体制の強化」について、構成員の皆様より検証していただきました。

皆様からいただきましたご意見を踏まえ、今年５月からは救急隊のみならず、消防隊にも範囲を広げてハイパフォーマンスＣＰＲの研修を行い、現場対応の強化を進めております。また、通信指令員の研修に、新たに指導救命士による技術的指導を取り入れるなど、更なる救急救命体制の充実強化に取り組んでいるところです。

本日の会議では、運用を開始してから３年が経過する映像通報システム「Live119」の活用状況

のほか、「やまがたＡＥＤサポーター制度」の創設に係るご提案について、検証していただきたいと思います。

今後とも、いただいたご意見やご指摘などをしっかりと活かしながら、救急救命体制のより一層の強化に努めてまいりますので、構成員の皆様には、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

■座長選出

森野一真 構成員

■検証事項

１　映像通報システム「Ｌｉｖｅ１１９」活用の促進について

「Ｌｉｖｅ１１９」の活用促進について
（通信指令課担当：高瀬治通信指令課長説明）※【会議資料１】により説明

《構成員からの質問・意見等》

構成員

動画は、わかりやすいと思い拝見しました。長さやスピード感も良いと思います。一点気になったところは、普通救命講習等の講習を消防職員や私たち応急手当指導員が使っている単語は、一般の方に伝わりにくいところがあります。日本人はもちろん、様々な国籍の老若男女の対応も考えられるので「わかりやすい日本語」を使い動画を作成する等の工夫をしてはいかがでしょうか。

山形市

検討します。

構成員

高齢者の立場としては、スマートフォンに慣れない方への対応の検討をしていただけるとありがたいです。

山形市

高齢者の方やスマートフォン操作が苦手な方にも使いやすい操作方法を検討したり、講習会の開催などを検討しています。

構成員

ホームページに掲載してある、新高機能指令センターの動画を拝見しました。大変分かりやすい動画でしたが、あの動画はどれくらい視聴されているのでしょうか。ホームページ以外にたとえば、公民館や高齢者クラブのイベントで活用したり、市民の皆さんに見てもらえるような取り組みをされているのでしょうか。

山形市

ホームページの閲覧数は把握しておりません。
動画の活用については、昨年度に山辺町で、今年度は山辺町、中山町でLive119の講習会を開催予

定ですが、このような講習会の時に動画を利用して広報活動を行っています。今後も継続的に動画を利用した広報活動を行っていきたいと考えています。

座　長

仙台市消防局でも同様のシステムを使用している状況のようですが、何か課題等は把握していますか。

構成員

当局でも同様のシステムを使用しており、本日の発表を聞いて有効なシステムだと再認識しました。

発表の中で積極的な活用という話がありましたが、今年度の活用数が伸び悩んでいるように見えます。この状況については仙台市も似ているところがあり、１年目 112 件、2 年目 87 件、3 年目の今年 57 件と減少傾向です。一方で、市民の同意の割合をみると、年々増加傾向で 67%から 90%近くまで上がっています。システムの運用から３年目となり、通報者の雰囲気から Live119 が使えそうな状況を狙い撃ちして頼んでいる側面があるのではないかと思っています。また、当局では年間約 1,000 件の心肺停止症例があるのですが、その中の約 1 割の症例は通報段階で気が付くことができなかったり、救急隊が付くまでに急変していたりします。「Live119 を使用して現場の状況を確認できていたら容態の変化に気づけていたかもしれない。」という悔しさを感じています。

ただ、現場の指令員はとにかく多忙なのです。119 番を受けながら警察に連絡したり、事故現場の油漏れで関連部署に連絡したり、とやるべきことが山積です。限られた人数で対応しているため、どうしても手や気持ちに余裕がある時でないと使えないという心理的ハードルができています。

システム自体は本当に素晴らしいものなので、今後はオペレータに対してこれは有効なツールであるという意識づけを徹底し、忙しい中でももっと積極的に活用できる体制を作っていきたいと考えています。

座　長

ありがとうございます。適用基準の様なものは決められているのでしょうか。

構成員

当局では明確な適用基準はありません。Live119 が有効であると判断したときに使うという状況です。

山形の映像を拝見して、CPR を行う際の押す角度などの姿勢の説明や体位変換の動画がありましたが、なかなか口で説明しづらいところなので、あのような動画を作っていることについて参考になりました。

座　長

市民への広報について、ＳＮＳの活用をしたら良いのではないでしょうか。また、Live119 の映像の記録はしているのでしょうか。

山形市

映像保存期間は１年間ですので、それ以上は削除しています。

座　長

119 番通報の音声検証をしているので、Live119 の映像も検証に使用したら良いと思います。

山形市

様々な検証を検討していきたいと思います。

２　やまがたＡＥＤサポーター制度（仮称）の創設について

ＡＥＤ搬送システムを活用した市民によるＡＥＤ活用促進の取組について
（救急救命課担当：後藤裕救急救命課長説明）※【会議資料２】により説明

《構成員からの質問・意見等》

構成員

一般市民に対する広報はどのようなことを行っているのでしょうか。

山形市

本事業はまだ取組前になるので、まずは公的機関から検証し、効果を確認して、ホームページ、ＳＮＳ、広報紙を使って広報を行い市民へ普及させたい。

構成員

コミュニティセンターにＡＥＤは設置してありますが、あれらのＡＥＤは外部に持ちだしていいのでしょうか。現状、設置してあるＡＥＤは幸か不幸か使われた形跡がないようです。例えば近くで使わなければならない事があったときに使っても良いのか確認したいです。

山形市

市有施設 265 台のＡＥＤが設置されていますが、実際に使用された実績はありません。これは良いことだと思っています。近くに心肺停止の傷病者が出たという場合に持っていけるようにするのが今回の制度です。

今現在、コミュニティセンターに設置されている AED は、外部に持ち出して使用可能です。

構成員

様々な問題はあると思うが、簡単に使用できるようにならないものでしょうか。

山形市

担当所管課と制度の話を進めてまいりたいと思います。

座　長

ＡＥＤの使用に資格は必要ありませんので、誤解のないようにお願いします。

構成員

３年間で制度設計から運用拡大までということですが、制度設計の段階から運用拡大を見据えて考えていただきたいと思います。また、市民向けの広報を３年後ではなく、今年度のモデル運用というところでしっかりと広報をスタートしても良いのではないでしょうか。

ＡＥＤ265 台の中で２４時間使用可能なものが少ないと感じています。他の自治体では外ケースに設置するケースもあるようです。所管課が違うので、すぐにやりますとはこの場で回答できない部分もあると思いますが、この会議の場はそのような関連部署に働きかけて 265 台を 24 時間使えるようにするきっかけにできる会議だと思います。

ＡＥＤサポーター制度で民間事業所に働きかけをする際にいろいろなデメリットを挙げていますが、事業所にとってメリットを打ち出す必要があるのではないかと思います。例えば、県議会では入札に加点するということを行っていますが、これも事業所側のメリットになります。

市有施設へのＡＥＤ配置は進んでいると思いますが、タクシー会社や建設現場などにも多くのＡＥＤが配置されています。このような事業者が短期でもこの期間、ここにＡＥＤがありますというような使い方ができるアプリ設計になれば良いのではないでしょうか。

ＡＥＤバック等は市民の声や期間限定というところで設置できるのではないかと思っているので、ご検討いただければ幸いです。

山形市

ご意見ありがとうございます。運用設計の方から検討させて頂きたいと思います。
屋外設置については少しずつ進んできており、現在，山形市のグラウンド５箇所については昨年、無人のところにも設置しています。
タクシー会社や建築会社についてもＡＥＤを持っている会社が多いので、講習会等の申込を促すなど、協力を要請していきたいと思います。

座　長

先進自治体への聞き取り調査はこれからでしょうか。

山形市

新潟市に調査へ行きました。ほかの自治体については電話等での聞き取りを行いながら、良いところを取り入れたいと思っています。

座　長

先進自治体の実績はどのようになっていますか。

山形市

新潟サポーター制度は平成２８年から９年間で３６名に対して電気ショックを行っています。その後の社会復帰は３０名です。大津市は４月１日に制度が始まったばかりです。

座　長

提示の事例の成果は大きいですね。成功できれば良いと考えています。Live119 との連携とはどのようなことでしょうか。

山形市

１１９番通報で心肺停止の通報が入ると、Live119 の機能を使って登録している近くのサポーターに通信指令課から連絡がいきます。サポーターとして登録されているスマートフォンに URL が送信されるので、URL を開くとＡＥＤの場所を案内して取りに行ってもらうイメージです。

座　長

機能上はできるということですか。

山形市

機能上できます。

構成員

素晴らしい取り組みだと思います。気になる点は、この事業に３年掛ける理由です。公的施設に既にＡＥＤが設置されているのが分かっていて、民間のＡＥＤ配置状況もわかっているような発表内容でした。市民の命がかかわっているものですので、消防本部だけではなく、各部署の協力を図り、迅速に行うべきではないでしょうか。

山形市

個人情報の問題や防犯上の問題などを確認して、まずは市関係部局から話をして問題を１つ１つクリアして確実に事業を行っていきたいと考えております。

■次回開催について

令和８年度第２回山形市救急救命業務検証会議は、令和９年３月２６日の金曜日、１３時３０分から行いたいと思っております。

■閉会